

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
JR利用促進補助金(3制度)	①特急はまかぜ利用促進補助金②JR播但線利用促進補助金③遠距離通勤・通学等補助金	10,700千円	神河町	●		
長谷駅利用促進事業	「長谷地区の振興を考える会」に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,350千円	神河町	●		●
公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」であるというマイレール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む。公共交通ワークショップ、公共交通通勤ウィーク等を実施	211千円	朝来市	●	●	●
公共交通の利用促進	各種助成制度の実施、公共交通情報誌の発行を行い、公共交通の利用促進に努める。	662千円	朝来市	●		●
特急はまかぜ利用促進補助金 特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及びパーク&ライド駐車場の確保	1,316千円	朝来市	●		
JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を4人以上の団体で利用した場合に支給する補助金の実施	107千円	朝来市		●	
公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金)	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に対して支給する、補助金・奨励金の実施	519千円	朝来市	●		

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助の実施	100千円	朝来市	●		
デマンド型乗合交通の活用	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市	●	●	●
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用した広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る。	—	播但線鉄道整備・利用促進協議会	●	●	●
【新】JR生野駅東口待合室改修事業	JR生野駅東口待合室を中高生や地域住民の意見を取り入れながら改修し、鉄道利用者の利便性向上を図る。	500千円	朝来市	●		●
【新】JR和田山駅周辺整備事業	JR和田山駅周辺の利便性向上を図るため、令和7年度は、南北自由通路の基本設計、駅南ロータリーの整備等を予定	91,000千円	朝来市	●		●

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)	●	●	●
JRハイキング造成モデル事業	JR播但線(竹田～生野間に限る。)の駅を起終点とし、JR播但線利用者を対象にしたガイド付きハイキングツアー造成を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。	750千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】4月13日～11月30日		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会		●	
【新】但馬地域における公共交通の 利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、 「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 (「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」(国庫10/10)を活用)	14,769千円 (国庫補補助金)	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。 【期間】11月～1月(予定)	1,163千円	兵庫県		●	
1日乗車券500円観光バス 「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保 ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会		●	

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
但馬観光の将来を見据えた地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県		●	
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
かに力二はまかぜの運行(予定)	冬季に臨時特急「かに力二はまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
【新】利用促進リーフレットの作成(予定)	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に播但線(和田山～寺前)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本		●	
【新】ご利用実態調査(予定)	乗車・降車駅、目的、利用頻度、2次交通等についてのアンケート調査を実施	—	JR西日本		●	
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	